

9:00 開場

9:30
S
10:30

ケースプレゼンテーション①

座長 清水 先生 山脇 先生

- 1.40代歯周病患者の治療から超高齢化社会における歯科衛生士の役割を再考した一症例
青木 史江 先生 (医療法人QOLファミリー歯科)
- 2.セルフケア確立後、インプラント治療を行った一症例
中川 優里奈 先生 (亀宝歯科医院)
- 3.エムドゲインを用いて歯肉退縮と骨欠損の改善をはかった一症例
上中 茂晴 先生 (医療法人KDC かみなか歯科)

10:40
S
11:40

ケースプレゼンテーション②

座長 小出 先生 山崎 先生

- 4.プラークリデンションファクターの改善がコンプライアンス向上に効果的であった一症例
曾田 好加 先生 (辻歯科医院)
- 5.非外科的治療でSPTへ移行できた侵襲性歯周炎の一症例
重成 佳江 先生 (医療法人エムアンドエム グリーン歯科クリニック)
- 6.広汎型侵襲性歯周炎患者に歯周再生療法および矯正治療を行った症例
栗原 孝幸 先生 (記念歯科)

11:40~12:00 リグロス商品説明会

12:00~12:10 支部総会

12:10~13:00 昼休憩

13:00
S
14:30

特別講演 ①

座長 岩田 先生 小笠原 先生

『明日から使える、歯周疾患の新診断2018
~歯周病認定医、認定衛生士に必要な知識として~』

昨年、19年ぶりに歯周病の新分類が発表されました。この新しい診断の紹介、使用方法をご紹介しますとともに2019年における世界基準の歯周病治療とはどのようなものなのかについて解説いただきます。

辻 翔太 先生

アメリカ歯周病学会ボード認定歯周病専門医
フリーランス歯周病専門医 大阪大学歯学部口腔治療科



現在の日本の歯周病分類

欧米の歯周疾患分類の歴史

新しい歯周疾患分類について

新しい分類の使用方法

略
歴

2007年 大阪大学歯学部卒業
2012-2015年 コロンビア大学歯学部歯周病科レジデント
2015年 アメリカ歯周病学会歯周病専門医、
Master of Science 取得
2016年 Oral Health Rehabilitation Lab (OHRL) 設立
(出張治療、出張治療指導)
2017年 米国歯科医師免許取得(ワシントン州)
大阪大学歯学部口腔治療科(歯周病科) 招聘教員
アメリカ歯周病学会ボード認定歯周病専門医 取得
Diplomate, American Board of Periodontology

14:50
S
16:20

特別講演 ②

座長 大江 先生 高井 先生

『歯周組織再生と修復 ~SRPからFGF2~』

歯周炎は、細菌感染と宿主の防御反応の結果惹起される歯周組織破壊を示す疾患です。歯周炎により失われた歯周組織を回復させることは、歯科医師や歯科衛生士の大きな目標となっています。今回は、歯周組織の再生と修復を確認しながら、歯周組織再生について解説いただきます。

鈴川 雅彦 先生

日本臨床歯周病学会 歯周病指導医 歯周インプラント指導医
AICデンタルクリニック、広島大学大学院歯周病態学分野研究室



歯周炎の発症と組織破壊

再生と修復

GTR法とEMDの成果

サイトカイン療法とFGF2

略
歴

1992-1994年 岡山大学歯学部卒業 咬合・口腔機能再建学分野
1994-2002年 サンスター千里歯科診療所
2000年 University of North Carolina at Chapel Hill
School of dentistry, the department of periodontology
2005年 AICデンタルクリニック開院
2013年 広島大学大学院医歯薬保健学研究院
応用生命科学部門 歯周病態学研究室